

【公募情報】日本医療研究開発機構（AMED）「創薬基盤推進研究事業（三次公募）」

平成 27 年 7 月 13 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

7 月 8 日付で『創薬基盤推進研究事業（三次公募）』について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1)応募意思の申し出締切：【平成 27 年 7 月 22 日（水）】

(2)応募書類一式提出締切：【平成 27 年 7 月 24 日（金）】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 提案書の提出方法：【e-rad】

創薬基盤推進研究事業（三次公募）

<http://www.amed.go.jp/koubo/010120150708.html>[外部ページ]

—公募概要—

【提出期間】平成 27 年 7 月 8 日～平成 27 年 8 月 7 日（金）（12:00）

【研究開発課題（2 課題）】

1. 次世代創薬シーズライブラリー構築プロジェクト
2. ドラッグ・リポジショニングによる希少疾病用医薬品の開発に関する研究

＜公募研究開発課題 1＞

【課題】次世代創薬シーズライブラリー構築プロジェクト

【研究費の規模】1 課題あたり 1 億円/年（間接経費を含む）

【研究機関】最長 5 年度（平成 27 年度～平成 31 年度）

【採択課題】2 課題程度

【目標】

・ Protein-Protein interaction (PPI)を阻害する作用が期待できる独自の化合物ライブラリー設計コンセプトに基づき、従来のライブラリーの課題を克服できる可能性のある中分子化合物等（分子量 500 程度以上）によるライブラリー構築を目指す。

【求められる成果】

・ PPI 阻害効果を発揮するための独自設計コンセプトに基づいた系統的な中分子化合物を年間 3000 化合物合成しライブラリーを構築し、DISC に提供する。

・ 新規母核を創製し、新たな化合物群としてライブラリーを充実させることが望ましい。

【採択条件】

・ PPI 阻害効果を発揮するための独自の設計コンセプトが示され、それに基づき中分子化合物等を合成できること。

・ 合成した中分子化合物等を産学協働スクリーニングコンソーシアム（DISC）に提供する。

・ 構造式を AMED に開示すること。

<公募研究開発課題 2>

【課題】 ドラッグ・リポジショニングによる希少疾病用医薬品の開発に関する研究

【研究費の規模】 1 課題あたり 5000 万円/年（間接経費を含む）

【研究機関】 最長 3 年度 （平成 27 年度～平成 29 年度）

【採択課題数】 3 課題程度

【目標】 既存薬の新たな治療効果のエビデンス構築により希少疾病用医薬品を開発する研究を実施し、企業への導出を目指す。

【求められる成果】 治験開始、治験完了、企業への導出等

【採択条件】

・ 希少疾病用医薬品の開発

・ 民間企業と連携して実施する研究であることが望ましい

・ PMDA 薬事戦略相談（対面助言）を活用し研究計画書に相談結果を反映させるなど、出口戦略を明確にした研究であるものを優先する。

【応募条件（留意点）】

・ 出口戦略を見据えた効率的な研究であること。研究開発課題が採択された場合には、研究開発初年度に PMDA 薬事戦略相談を受けることが必須。

・ 最終目標までのロードマップが明確な研究であること。

- ・公募開始前の PMDA 薬事戦略相談実施している場合、「相談概要」「PMDA が作成された対面助言記録」の添付し、本記載事項を特に重視する。
- ・民間と連携して実施する研究である場合は、民間企業との共同研究であることを示す書類（契約書）を研究計画書に添付する。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当
メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp